

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第16回北信越ワークショップin石川	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、地域風土として共通要素の多い北信越地域(新潟・富山・石川・福井・長野5県)において、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」の実現を目指して、行政、研究者、工事施工者などが一堂に会し議論する取り組みである。今回は、身近な河川の連続性を回復する「小さな自然再生」の取り組みが全国的に広がっている中で、地域のさまざまな自然再生の取り組みから、石川県の誇る自然と地域の再生につなげてゆくことを目的としている。

2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会金沢、応用生態工学会
 協賛: 石川県治水協会、(一社)北陸地域づくり協会、
 (一社)石川県建設コンサルタント協会、北陸技術士懇談会
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、農林水産省北陸農政局、
 環境省中部地方環境事務所、石川県、金沢市、能美市、北國新聞社

3. 事業実施概要

テーマ: 「流域の連続性の回復ー小さな自然再生から流域の地域再生を目指して」

■ワークショップ

日時: 平成29年10月20日(金) 10:30~17:00

場所: ITビジネスプラザ武蔵(金沢市内)

プログラム:

- ・記念講演「応用生態工学の20年」
 講師: 辻本 哲郎(応用生態工学会 会長)
- ・基調講演「水辺の小さな自然再生にできること・期待されること」
 講師: 原田 守啓(岐阜大学 准教授)
- ・一般講演5題
 講師: 国土交通省、農林水産省、石川県、石川ホテルの会、石川県立大学
- ・総合討論
 コーディネーター: 玉井 信行(東京大学 名誉教授)

参加者: 138名

■現地見学会

日時: 平成29年10月21日(土) 9:00~16:30

コース: 手取川~角間川~犀川

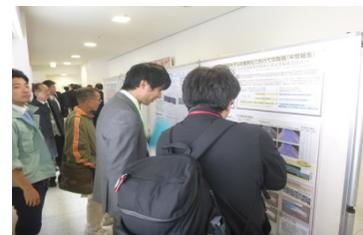
参加者: 46名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域という広域的視点において地域課題に関する情報共有を図り、北信越地域及び流域全体の連携強化が期待される。大学等の研究者をはじめ、国・県の行政担当者、建設コンサルタント、市民団体などが一堂に集い、まさに産学官が一体となって、応用生態工学や多自然川づくりとの関係、今後期待される役割への認識が共有されるとともに、人的交流の促進に寄与している。また、参加者にとって「流域の地域再生の意義や大事さ」の意識が高まり、国や自治体の施策立案にもつながり、有益な取り組みとなっている。



ワークショップ
(↑開会挨拶、総合討論→)



ポスター展示



現地見学会